

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【人権発表会の開催】</p>	<p>金沢小まつりのコーナーの一つとして、人権に関するスライドを作成し、人権実行委員（希望者）による発表を実施した。</p> <p>徳島県教育委員会が配信している「じんけん CHANNEL」という動画を活用しながら、途中でクイズを入れたり、呼びかけを入れたりして、低学年でも分かるように説明しながら、人権について全校児童で考える時間を設けた。</p> <p>また、最後に「人権メッセージ」で優秀作品に選ばれた学年代表の児童6名に発表をしてもらった。（メッセージは廊下に掲示）</p> <hr/> <p>成果</p> <p>実施後のアンケートに、「人権って難しいものだと思ってたけど、みんなが笑顔になればいいことなんだ。」という回答をした児童が数名おり、堅苦しいイメージを払拭しながら実施できたことが良かった点である。「人権が守られている＝えがお」のキーワードが広がった。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>毎年同じ動画を見るわけにはいかないので、学校独自のスライド等を作成する必要がある。全体の場合では、発達段階に差があるため、低学年では理解が難しい内容も含まれてしまった。</p>
<p>2 実践2 【教職員への人権研修の実施】</p>	<p>人権研究部の夏季研修会で行われた佐藤先生の講演会の内容を軸に、校内で伝達を含め、スライドを独自に作成し、研修を行った。</p> <p>また、人権問題啓発映画「ホーム」と滑川友理氏による性的マイノリティへの理解促進に関する動画を全職員で視聴し、授業に生かした。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>人権問題への正しい理解が促進された。「人権教育の指導方法等の在り方について（第三次とりまとめ）について」の存在を確認でき、知らなければ指導できない内容を確認することができた。</p> <p>人権問題を難しく考えている職員も多く、マンガになっている資料や小学生でも分かるように簡単な言葉で書いてあるポスターなどこまめに作成して配付することで日々の指導の間に活用し、意識できるようになってきた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>研修時間の確保が難しい。今回は資料を事前に配付し、教師主導で動画を視聴してもらおうのが精一杯であった。</p> <p>指導案があっても、学校の実態によって実施することが難しい内容の場合がある。</p>